

埋め立て後アセス対象外

県議会代表質問 軍港移設で県答弁

県議会は19日、9月定例会代表質問2日目で、与党3氏と中立2氏が登壇した。多良間一弘環境部長は那覇軍港の環境影響評価（アセスメント）方法書に、完成後に米軍が使用する際の環境影響評価が盛り込まれていないことに「埋め立て事業では供用に伴う環境影響は対象となっていない」との認識を示した。

市民団体が米軍を含め、いのちの不適切と改訂方法書の作成を求めている。他県のアセスで供用後の米軍を対象にした事例もある。多良間部長は「県環境影響評価審査会の意見も踏まえ、環境保全の見地から意見を述べる」と答えた。当山勝利氏（社大）への答弁。

有機フッ素化合物PFAS対策で、宮城力企業局長は北谷浄水場の活性炭取り替えに毎年3億5千万円のコスト増が見込まれると説明。「継続した場合、水道料金への影響が懸念される」とし、米軍基地由来の「自然性が高いPFAS対策は国に費用負担を求める」とした。喜友名智子氏（おきなわ新風）への答弁。

玉城デニー知事は自然災害や家畜伝染病などに対応する常設の防災危機管理センター棟（仮称）の整備について、建設予定地での埋蔵文化財調査の11月未完了を目指し、27年度供用開始に向けて取り組む考えを示した。松下美智子氏（公明党）への答弁。

喜屋武盛人農林水産部長は糸満市の「イマイユ市場」での取扱量を、計画数量の5500トに対し23年度が66%、24年度が70%と増加傾向と説明。「昨年度の3840トに対し、本年度は8月末時点で1560ト。取扱量の増加に取り組む」と述べた。大田守氏（無所属）への答弁。



松下美智子氏



喜友名智子氏



当山勝利氏



比嘉瑞己氏



大田守氏

発生した交通事故の件数は、土砂搬入が始まった2018年12月から25年8月までに人身事故3件、物件事故40件の計43件だったと明らかにした。比嘉瑞己氏（共産）への答弁。